

富士見市鶴瀬地域公民館運営審議会議事録

開催日時	平成 29 年 4 月 12 日 (水) 午後 7 時 00 分～午後 9 時 30 分
会場	鶴瀬公民館 いきいき活動室
出席者	瀬戸 篤・長ヶ原美博 鶴瀬公民館長・同副館長 (合計 4 名)
欠席者	山川亜希子
会議次第	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
会議録確認	
公開・非公開	公開 (傍聴人なし)
会 議 内 容	
<p>○傍聴希望者がいないことを確認。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①職員体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課業分担表 (資料) を基に平成 29 年度各事業の担当職員を説明する。 <p>(2) 協議事項</p> <p>①平成 28 年度鶴瀬公民館事業の評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴瀬公民館の以下の事業について、公民館長から事業目的、概要、成果とその理由、課題、参加者の意見等を記入した事業報告を資料に基づき説明する。 <p>報告事業は、つるせ公民館だより、つるせ公民館まつり、公民館運営審議会地区会議、文化活動支援事業(ホール活用事業、活用懇談会)、げんもりかん事業、鶴瀬学級、子育て支援事業 (おかあさんのハートフル time、おかあさんのほっと time)、"子育て学習支援事業 (おかあさんのステップアップ講座)、子育て学習支援事業 (サポーター養成学習会)、子育て学習支援事業 (小学生体験教室)、子育て学習支援事業 (子育てコーチング講座)、利用者懇談会、介護予防事業 (サロン)、介護予防事業 (リハビリ支援)、わんぱく広場支援事業、市民生活講座、パソコン相談室、地域及び利用団体活動支援事業、公民館運営審議会全体会、第 39 期富士見市民大学、第 5 回郷土富士見検定、平和憲法啓発事業、子どもフェスティバル事業、地域自治シンポジウム、障がい者の学習機会充実事業、サークル公開月間 となる。</p> <p>この事業に対して、各委員より事前に評価をいただき、それをまとめた資料をもとに協議をし、最終的に「富士見の公民館」の事業評価をどの内容にするか確認した。</p>	

○主な意見

・公民館だより発行について困っていることは何かを考えると、記事のマンネリ化があげられるのではないかと。編集委員の不足についてや興味のある記事をどう取り上げるかも課題。

・つるせ公民館まつりは、公民館利用者以外の方を多く呼び込むために、いろいろなチャンスをねらって呼びかける必要がある。

・げんもりかん事業は、公費なしの自主事業で、赤字にならないよう行っている。映画は今ではどこでも観られるが、この取組はただ映画を観るだけではない別の魅力がある。みんなで集まり顔を合わせることに意義がある。

・鶴瀬学級は、参加人数は増えているのか。

→現在申し込み中だが、他館より増えている。平均年齢70歳代後半、90歳近い方もクラブ代表をやっている。

・鶴瀬学級は、市民大学とは違い、全体行事がありそれに付随してクラブ活動があるという認識でいいのか。

→そのとおり。

・子育てサロンは、日中働いている方はなかなか参加できないが、参加すれば、子育てに関する大切な情報が得られるので、たくさんの方に参加してほしい。

・小学生体験は、参加人数が決して多いわけではないが、うどん作り等普段なかなかできないことを経験し学びにつながるので、評価したい。

・わんぱく支援事業は、長年継続してきた事業ということだが、スタッフも高齢化等により継続が難しい状況なので、見直しが必要である。

・青年学級は、彼らが孤立しないように、場を提供していく必要がある。

→ボランティアの確保が難しい。どうやって若い方を確保していくか課題である。

以上の意見を踏まえ、結果を最終的にシートにまとめ、報告することで確認した。

(3) その他

①平成29年度第1回全体公運審会議の日程について

- ・5月17日(水)において、1名欠員につき、新委員を委嘱する。

以上